

令和元年度 甲斐市水道事業会計決算審査意見書

第1 審査の対象

- (1) 令和元年度甲斐市水道事業会計決算書
- (2) 甲斐市水道事業報告書
- (3) 甲斐市水道事業会計決算附属明細書
- (4) 令和元年度甲斐市水道事業会計決算審査参考資料
- (5) 令和元年度甲斐市水道事業会計決算審査附属資料

上記の決算に関する証書類、その他政令で定める書類及び基金運用状況調書

第2 審査の期間

令和2年6月25日（木）から同年6月26日（金）まで

第3 審査の方法

審査に付された決算書及び附属書類が関係法令に準拠して作成され、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているか、また、決算書類の計数と会計諸帳簿及び証拠書類等を照合精査するとともに関係職員から説明を聴取し、経済性の発揮と公共の福祉を増進するよう管理運営がされているかなどにも着目し、審査を実施した。

第4 審査の結果

審査に付された決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して適正に作成され、計数は会計帳簿及び証拠書類と符合し正確であり、当年度の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。

1 事業の概要

(1) 事業の状況

本市の水道事業は、「安全な水道」「安定性の高い水道」「持続可能な健全経営」を目標とし、基本理念である「かけがえのない安全でおいしい水をいつまでも」を実現するため事業を展開している。

水道事業が今後も健全な経営を維持できる適正な水道料金とするため、令和元年 6 月検針分から料金の引き上げを行い、当該年度の給水収益は、前年度に比べ約 18%増の 753,420,740 円となった。また、大規模地震対策として、耐震化計画に基づき基幹管路耐震化工事を 66m 施工するとともに、老朽化した配水管の布設替えは、下水道管渠整備工事と同時施工を中心に 2,114.20m を施工した。施設整備事業では、片瀬系統機電設備改修工事や第 17 水源取水ポンプ更新工事等を実施した。

(2) 業務実績

項目		単位	令和元年度 (R2. 3. 31 現在)	平成 30 年度 (H31. 3. 31 現在)	比較増減	増減率(%)
期末給水人口		人	55,485	55,429	56	0.10
計画給水人口		人	55,200	55,200	0	0.00
期末給水栓数		栓	25,001	24,739	262	1.06
普及率		%	98.92	98.87	0.05	0.05
配水量	期間	m ³	6,650,501	6,812,872	△162,371	△2.38
	月平均	m ³	554,208	567,739	△13,531	△2.38
	日平均	m ³	18,171	18,665	△494	△2.65
有収水量	期間	m ³	5,927,353	5,981,472	△54,119	△0.90
	月平均	m ³	493,946	498,456	△4,510	△0.90
	日平均	m ³	16,195	16,388	△193	△1.18
1日最大配水量		m ³	19,835	20,877	△1,042	△4.99
有収率		%	89.13	87.80	1.33	1.51
供給単価		円	127.1	106.3	20.8	19.57
給水原価		円	99.1	96.3	2.8	2.91

令和元年度末の給水人口は、55,485人で前年度と比べ56人の増となり、給水栓数も25,001栓で262栓の増となっている。また、当年度末における期末給水人口に対する水道の普及率は、98.92%で前年度と比べ0.05ポイント上昇した。

一方、年間総配水量は6,650,501 m³で、前年度と比べ162,371 m³減少し、有収水量も5,927,353 m³で54,119 m³減少した。

本市は、宅地開発やアパート、マンション等の建設により給水人口、給水栓数は増加したものの、節水器具の普及、節水意識の高まり等により給水量が減少したものと考えられる。

2 決算の状況

(1) 収益的収入及び支出

当年度の収益的収入及び収益的支出の状況は、次表のとおりである。

[収益的収入]

(単位：円、%)

区 分	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減	収入率	前年度決算額
水道事業収益	985,075,000	974,315,691	△10,759,309	98.9	853,520,789
営業収益	880,984,000	871,288,627	△9,695,373	98.9	740,660,163
営業外収益	104,090,000	103,027,064	△1,062,936	99.0	112,860,626
特別利益	1,000	0	△1,000	0	0

収益的収入の決算額は974,315,691円で、予算額985,075,000円に対して10,759,309円下回り、収入率は98.9%であるが、決算額は前年度と比べ120,794,902円の増額である。

〔収益的支出〕

(単位：円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度決算額
水道事業費用	751,699,000	719,489,330	0	32,209,670	95.7	712,318,637
営業費用	725,815,000	695,685,715	0	30,129,285	95.8	690,245,517
営業外費用	23,671,000	23,307,527	0	363,473	98.5	21,704,939
特別損失	1,112,000	496,088	0	615,912	44.6	368,181
予備費	1,101,000	0	0	1,101,000	0.0	0

収益的支出の決算額は719,489,330円で、予算額751,699,000円に対して執行率は95.7%で、決算額は前年度と比べ7,170,693円の増額である。

(2) 資本的収入及び支出

当年度の資本的収入及び資本的支出の状況は次表のとおりである。

〔資本的収入〕

(単位：円、%)

区 分	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減	収入率	前年度決算額
資本的収入	68,886,000	57,719,252	△11,166,748	83.8	78,819,894
企業債	0	0	0	0.0	0
負担金	34,030,000	24,559,252	△9,470,748	72.2	39,335,094
固定資産売却代金	0	0	0	0.0	0
補助金	0	0	0	0.0	0
加入金	34,856,000	33,160,000	△1,696,000	95.1	39,484,800

資本的収入の決算額は57,719,252円で、予算額68,886,000円に対して11,166,748円の減額となり、収入率は83.8%で前年度と比べ21,100,642円の減額である。

〔資本的支出〕

(単位：円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度決算額
資本的支出	372,158,000	306,594,008	0	65,563,992	82.4	315,374,313
建設改良費	358,991,000	293,427,736	0	65,563,264	81.7	285,900,364
企業債償還金	13,167,000	13,166,272	0	728	99.9	29,473,949

資本的支出の決算額は306,594,008円で、予算額372,158,000円に対して執行率は82.4%であり、不用額65,563,992円は、主に建設改良費における工事請負費である。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額248,874,756円は、次の財源により補てんされている。

- ・過年度分損益勘定留保資金 15,001,442 円
- ・当年度分損益勘定留保資金 211,348,465 円
- ・当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 22,524,849 円

3 経営状況

(1) 経営成績

事業収支の推移は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区分	総収益 ①		総費用 ②		損 益 ①－②		総収益の 総費用に 対する比 ①／②
	金額	前年 対比	金額	前年 対比	金額	前年 対比	
令和元年度	909,352,737	113.7	676,055,671	100.2	233,297,066	186.6	134.5
平成30年度	800,067,233	100.8	675,023,401	98.8	125,043,832	113.3	118.5
平成29年度	793,631,882	100.4	683,306,348	96.9	110,325,534	129.8	116.1

令和元年度の事業経営は、総収益909,352,737円に対し、総費用は676,055,671円であり、差引き233,297,066円が当年度の純利益となっている。

〔収 益〕

(単位：円、%)

区 分	令和元年度		平成 30 年度		比較増減 ①－②	前年対比 ①／②
	金額 ①	構成比	金額 ②	構成比		
営業収益	804,241,251	88.4	687,397,969	85.9	116,843,282	117.0
給水収益	753,420,740	82.8	635,878,425	79.5	117,542,315	118.5
受託工事収益	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他営業収益	50,820,511	5.6	51,519,544	6.4	△699,033	98.6
営業外収益	105,111,486	11.6	112,669,264	14.1	△7,557,778	93.3
受取利息	974,855	0.1	870,616	0.1	104,239	112.0
他会計補助金	456,000	0.1	120,000	0.0	336,000	380.0
他会計負担金	10,420,000	1.1	10,440,000	1.3	△20,000	99.8
長期前受金戻入	88,153,177	9.7	98,834,260	12.4	△10,681,083	89.2
雑収益	5,107,454	0.6	2,404,388	0.3	2,703,066	212.4
補助金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合 計	909,352,737	100.0	800,067,233	100.0	109,285,504	113.7

〔費 用〕

(単位：円、%)

区 分	令和元年度		平成 30 年度		比較増減 ①－②	前年対比 ①／②
	金額 ①	構成比	金額 ②	構成比		
営業費用	671,685,511	99.4	669,509,862	99.2	2,175,649	100.3
原水及び浄水費	143,588,607	21.2	140,834,417	20.9	2,754,190	102.0
配水及び給水費	86,913,249	12.9	74,372,763	11.0	12,540,486	116.9
受託工事費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
業務及び総係費	125,477,127	18.6	124,096,078	18.4	1,381,049	101.1
減価償却費	304,646,443	45.1	307,964,476	45.6	△3,318,033	98.9
資産減耗費	11,054,416	1.6	22,242,128	3.3	△11,187,712	49.7
その他営業費用	5,669	皆増	0	0.0	5,669	皆増
営業外費用	3,883,108	0.5	5,172,625	0.8	△1,289,517	75.1
支払利息	1,791,586	0.3	3,049,375	0.5	△1,257,789	58.8
災害対策費	1,084,851	0.1	7,764	0.0	1,077,087	13972.8
雑支出	1,006,671	0.1	2,115,486	0.3	△1,108,815	47.6
特別損失	487,052	0.1	340,914	0.0	146,138	142.9
予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合 計	676,055,671	100.0	675,023,401	100.0	1,032,270	100.2

(2) キャッシュ・フローの状況

業務活動によるキャッシュ・フローは、通常の業務活動の実施に係る資金の状態を表し、投資活動によるキャッシュ・フローは、将来に向けた運営基盤の確立のために行われる投資活動における資金の状態を表している。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、業務活動及び投資活動を行うための財務活動に係る資金の状態を表している。

なお、当年度のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりである。

ア 業務活動によるキャッシュ・フロー

業務活動においては、当年度純利益 233,297,066 円に対して、減価償却費、資産減耗費、長期前受金戻入額等の非資金損益項目について調整した結果、427,380,734 円の資金を得た。

イ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動においては、国庫補助金等による収入 65,999,892 円、加入金による収入 30,400,000 円があったが、有形固定資産を取得し 310,830,579 円を支出したことにより、214,430,687 円の資金を使用した。

ウ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動においては、企業債の償還のため 13,166,272 円の資金を使用した。

当年度における資金は、業務活動で得た資金 427,380,734 円が増加したが、投資活動に 214,430,687 円、財務活動に 13,166,272 円を充てた結果、199,783,775 円増加し、当年度末の資金残高は 1,029,488,166 円となっている。

(3) 経営分析

経営分析の指標は、次のとおりである。

[水道事業の概況]

区 分	単位	甲斐市	類似団体平均	全国平均
普及率	%	98.92	77.56	86.36
平均有収水量	ℓ	291.88	303.00	304.00
有形固定資産減価償却率	%	51.00	46.28	46.24

- ・普及率は98.92%で、類似団体及び全国平均値を上回り、給水区域内ではほとんどの住民が公営による水道の供給を受けている。
- ・有収水量は近年減少傾向にあり、平均有収水量も類似団体及び全国平均を下回っている。これは節水型社会への移行や大口需要の減少等により、水需要が減少していることなどによるものと考えられる。
- ・有形固定資産減価償却費は、類似団体及び全国平均を上回り、昨年より0.84%上昇している。これは、施設の老朽化が進行しているためのものと考えられる。

[施設の効率性]

区 分	単位	甲斐市	類似団体平均	全国平均
施設利用率	%	53.76	58.32	60.69
有収率	%	89.13	88.17	84.51
配水管使用効率	%	18.58	21.32	14.67

- ・施設利用率は、平成23年度までは類似団体及び全国平均を上回っていたが、大口需要企業撤退の影響により、近年は類似団体、全国平均を下回っている。今後の動向によっては、施設規模の見直しを検討する必要があることも考えられる。
- ・有収率は、類似団体及び全国平均を上回っている。これは、老朽管の更新や適正な維持管理の実施により、漏水防止対策の効果が現れたものと考えられる。
- ・配水管使用効率は、類似団体平均を下回っており、施設効率と給水安定性とのバランスを踏まえた目標設定を行う必要がある。

[経営の効率性]

区 分	単位	甲斐市	類似団体平均	全国平均
総収支比率	%	134.51	113.73	111.21
経常収支比率	%	134.61	113.91	111.93
繰入金比率（収益的収入分）	%	1.29	1.44	3.64
繰入金比率（資本的収入分）	%	1.33	8.28	18.08
職員1人あたりの給水人口	人	5,044	4,863	4,119
職員1人あたりの給水収益	千円	68,493	73,622	71,583
料金回収率	%	128.26	105.53	102.56
1ヵ月20m ³ 当たりの家庭用料金	円	2,431	2,361	2,761

- ・総収支比率、経営収支比率ともに100%を上回り、経営状況は健全な水準にある。
- ・繰入金比率の収益的収入分における割合は、下水道事業及び簡易水道事業の公営企業化に向けた負担金等の繰入れがあり、類似団体平均とほぼ同程度の割合となった。また、資本的収入分の割合は類似団体及び全国平均より低いが、建設改良費に充てた企業債に係る元金償還金に対し、一般会計からの繰入金を受けていないことが大きいと考えられる。
- ・職員1人当たりの給水人口は、類似団体及び全国平均を上回り、これは収納業務や運転管理等の委託により、職員削減等の成果によるものと考えられる。しかし、職員1人当たりの給水収益は、類似団体及び全国平均を下回っており、これは供給単価が低く抑えられていることによるものと考えられる。
- ・料金回収率及び1ヵ月20m³当たりの家庭用料金は、類似団体及び全国平均を上回り、経営に必要な経費を料金で賄うことができている。

[財務の状況]

区 分	単位	甲斐市	類似団体平均	全国平均
当座比率	%	1107.93	362.19	311.12
自己資本構成比率	%	98.36	74.52	67.91
固定資産対長期資本比率	%	87.59	89.40	91.44

- ・当座比率は、類似団体及び全国平均を大きく上回り、当座の支払い能力は問題がないものと考えられる。
- ・自己資本構成比率は、類似団体及び全国平均を上回り、自立性が高く安定した財政状態といえる。
- ・固定資産対長期資本比率は、類似団体及び全国平均を下回って100%以下であり、当座比率も高いことから事業の安全性が確保されているといえる。

4 財政状況

(1) 財政状況の概要

当年度の貸借対照表を前年度と比較すると次の表のとおりである。

(単位：円、%)

資 産 の 部						
区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 ①－②	増減 比率
	金額 ①	構成比	金額 ②	構成比		
固定資産	7,331,340,982	86.5	7,336,088,262	88.3	△4,747,280	△0.1
有形固定資産	7,331,340,982	86.5	7,336,088,262	88.3	△4,747,280	△0.1
無形固定資産	0	0.0	0	0.0	0	0.0
流動資産	1,141,656,593	13.5	969,213,777	11.7	172,442,816	17.8
現金・預金	1,029,488,166	12.1	829,704,391	10.0	199,783,775	24.1
未収金・貸倒引当金	107,876,592	1.3	135,356,095	1.6	△27,479,503	△20.3
貯蔵品	4,252,005	0.1	4,116,331	0.1	135,674	3.3
仮払金	39,830	0.0	36,960	0.0	2,870	7.8
前払金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
資産合計	8,472,997,575	100.0	8,305,302,039	100.0	167,695,536	2.0
負 債 ・ 資 本 の 部						
区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 ①－②	増減 比率
	金額 ①	構成比	金額 ②	構成比		
固定負債	36,399,878	0.4	46,176,147	0.6	△9,776,269	△21.2
企業債	36,399,878	0.4	46,176,147	0.6	△9,776,269	△21.2
引当金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
流動負債	102,656,699	1.2	166,728,675	2.0	△64,071,976	△38.4
企業債	9,776,269	0.1	13,166,272	0.2	△3,390,003	△25.7
未払金	46,348,358	0.6	109,566,049	1.3	△63,217,691	△57.7
前受金	231,038	0.0	224,303	0.0	6,735	3.0
預り金	39,240,990	0.4	37,185,084	0.4	2,055,906	5.5
引当金	7,060,044	0.1	6,586,967	0.1	473,077	7.2
繰延収益	2,357,601,247	27.8	2,349,354,532	28.3	8,246,715	0.4
長期前受金	4,091,523,056	48.2	4,005,585,759	48.2	85,937,297	2.1
収益化累計額	△1,733,921,809	△20.4	△1,656,231,227	△19.9	△77,690,582	△4.7
負債合計	2,496,657,824	29.4	2,562,259,354	30.9	△65,601,530	△2.6
資本金	4,759,046,176	56.2	4,759,046,176	57.3	0	0
剰余金	1,217,293,575	14.4	983,996,509	11.8	233,297,066	23.7
資本剰余金	258,222,225	3.1	258,222,225	3.1	0	0.0
利益剰余金	959,071,350	11.3	725,774,284	8.7	233,297,066	32.1
資本合計	5,976,339,751	70.6	5,743,042,685	69.1	233,297,066	4.1
負債・資本合計	8,472,997,575	100.0	8,305,302,039	100.0	167,695,536	2.0

(2) 資産の状況

当度末の資産合計は 8,472,997,575 円で、内訳は固定資産が 7,331,340,982 円、流動資産が 1,141,656,593 円であり、対前年度比 167,695,536 円 (2.0%) の増額である。

これは主に、流動資産が 172,442,816 円 (17.8%) 増加したものの、減価償却等により有形固定資産が 4,747,280 円 (0.1%) 減少したことによるものである。

(3) 負債の状況

当年度末の負債合計は 2,496,657,824 円で、内訳は固定負債が 36,399,878 円、流動負債が 102,656,699 円、繰延収益が 2,357,601,247 円であり、対前年度比 65,601,530 円 (2.6%) の減額である。

これは主に、企業債の償還額の減少と未払金の減少によるものである。

5 むすび

令和元年度損益計算書において、当年度の純利益は 2 億 3329 万 7066 円で前年度と比較すると 86.6%増の 1 億 825 万 3234 円の大幅な増加であるが、この主な要因は水道料金改定による給水収益の増加によるものであり、将来的には人口減少や節水型社会への移行に伴う水需要の減少により、このような伸びは期待できない状況である。

更に施設整備事業においては、老朽化した施設の更新や耐震化対応、自然災害等に備えた対応などが求められており、課題が山積している状況ではあるが、計画に基づき施設整備を推進し、引き続き健全経営を堅持するため、財務基盤の確立に一層努力されたい。

また、料金については、健全な経営を維持できる適正な料金とすることが目的で改定したことを念頭に置き、今後も更なる経営の効率化を図るとともに確保された財源を有効に活用し、水道水の安定供給のため、水道事業の本来の目的である「公共福祉の増進」となるよう引き続き努力されたい。

令和 2 年 7 月 29 日

代表監査委員	小林 春 男
監査委員	望 月 寛 一
監査委員	長 谷 部 集